

2017/9/17

J A R L 神奈川 県支部主催

神奈川 県支部長 JF1NEF 森野 富士彦
コンテスト委員長 JA9SCB 今村 明弘

第 3 6 回非常通信訓練コンテスト規約

ログ提出局の中から、抽選で 5 局に副賞として、防災関連グッズが当たります。
下記規約をご精読の上、奮ってご参加ください。

【開催日時および使用周波数】

2 0 1 8 年（平成 3 0 年）4 月 7 日（土）1 8 : 0 0 ~ 2 3 : 5 9（J S T）

使用周波数帯およびその運用可能時間帯は下記のとおり

3.5MHz および 7MHz : 1 8 : 0 0 ~ 1 9 : 5 9

50MHz および 144MHz : 2 0 : 0 0 ~ 2 1 : 5 9

430MHz および 1200MHz : 2 2 : 0 0 ~ 2 3 : 5 9

【運用モード】

各バンドとも電話（AM、SSB、FM）のみ

なお 3.5MHz 帯から 430MHz 帯の各バンドにおける使用周波数帯は、JARL 主催コンテスト使用周波数帯の指定によるものとし、1200MHz バンドは総務省告示の「アマチュア業務に使用する電波の形式及び周波数の使用区分」によるものとする。

また、各バンドの呼出周波数（51.30MHz、145.30MHz、433.30MHz の各デジタル呼出周波数も含む）は使用しないこと。

【参加資格】

シングルオペレーターで運用する日本国内のアマチュア無線局

（単一オペレーターによる運用での社団局からのシングルオペ参加、ゲストオペレーター制度を活用した個人局や社団局からのシングルオペ参加も可能）

【交信方法】

（交信相手局）

神奈川県内で運用する局（県内局）の場合：全ての国内局

神奈川県外で運用する局（県外局）の場合：神奈川県内で運用する局（県内局）

（呼び出し）

県内局 電話：「CQ 神奈川訓練」

県外局 電話：「CQ 神奈川訓練 こちらは県外局」

（コンテストナンバーの交換）

県内局：「RST 符号による相手局のシグナルレポート」＋
「自局の運用場所の郵便番号（7 桁）」

県外局：「R S T符号による相手局のシグナルレポート」＋

「自局の運用場所を示す市・郡・区ナンバー」

(例) 横浜市栄区飯島町から運用の県内局の場合：592440842

石川県白山市から運用の県外局の場合：593010

【参加部門および種目】（下記のいずれか1つの部門種目のみに書類提出できます）

部門種目		コードナンバー	
		県内局	県外局
電話シングル オペ (注1)	オールバンド (注2)	KA	XA
	HF-Low (3.5/7MHz) バンド (注2、3)	KHL	XHL
	VHF (50/144MHz) バンド (注2、3)	KV	XV
	UHF (430/1200MHz) バンド (注2、3)	KU	XU
	3.5MHz バンド	K35	X35
	7MHz バンド	K7	X7
	50MHz バンド	K50	X50
	144MHz バンド	K144	X144
	430MHz バンド	K430	X430
	1200MHz バンド	K1200	X1200

(注1) 本コンテストは、「電話シングルオペ」のみの交信によるものとし、シングルオペは、コンテスト中の運用に関わる全てを一人で行なうものとする。

(注2) オールバンド種目には、2つ以上の周波数帯を使用した場合にのみエントリーできる。なお、例えば3.5MHzバンドと7MHzバンドの2つを使用した場合には、オールバンドもしくはHF-Low (3.5/7MHz) バンド種目のいずれかを選択してエントリー可。

(注3) HF-Low (3.5/7MHz) バンド、VHF (50/144MHz) バンドおよび UHF (430/1200MHz) バンドの各種目には、それぞれの種目に含まれる2つの周波数帯を使用した場合にのみエントリーできる。

【得点およびマルチプレイヤー】

(得点)

コンテストナンバー交換が完全に行なわれた交信を1点とする。

ただし、県外局同士の交信は無効(0点)とし、また同一バンド内における同一局との重複交信は、たとえ電波形式が異なっていた場合であっても、1交信のみを得点とし、それ以外は0点とする。

(マルチプレイヤー)

県内局：相手局の運用場所を示す異なる神奈川県内の郵便番号(7桁)および神奈川県以外の異なる市・郡・区

県外局：相手局の運用場所を示す異なる神奈川県内の郵便番号(7桁)

神奈川県内の各運用場所を示す郵便番号については、下記の日本郵便株式会社の郵便番号検索サイトなどを参照して確認してください。

<http://www.post.japanpost.jp/zipcode/>

市・郡・区ナンバーについては、下記に掲載の「JARL コンテストで使用する市・郡・区番号表」に準じます。

http://www.jarl.org/Japanese/A_Shiryo/A-2_jcc-jcg/jcc.htm

【総得点の計算】

「各バンドにおける得点の和」×「各バンドで得たマルチプライヤー数の和」とする。

【禁止事項】

- (1) クロスバンド、クロスモードおよびレピータによる交信
- (2) コンテスト開催時間中における運用場所の変更
- (3) 同一または異なるバンドにおける2波以上の電波の同時発射
- (4) 同一オペレーターが複数参加局間で掛け持ち運用（同一免許人が有する複数のコールサインの個人局間、個人局とシングルオペ社団局間、ゲストオペレーターなどによる複数局間などでの運用）を行った場合における当該複数参加局それぞれからの審査対象書類の提出。
このような運用を行った場合、同一オペレーターが複数の審査対象参加局の間で重複しないように、いずれか1つの参加局からのみ審査対象書類を提出することは可。

【書類提出】

- (1) JARL制定の「サマリーシート」および「ログシート」（または同形式のもの）を使用し、必要事項を記入して提出すること。電子メールによる書類提出の場合は、電子ログ書類としてJARL主催コンテストにおける所定の様式で作成したデータをテキストメールの本文または添付ファイル（テキスト形式ファイルに限る）として提出先メールアドレスに送信すること。（別表1参照）
なお、紙によるサマリー・ログ書類は、手書きのもののみを受け付けることとする。
- (2) いずれか1つの部門種目のみに書類を提出すること。
なお審査の対象とすることを希望しない交信については、チェックログとしての提出を推奨します。チェックログ扱いを希望する交信については、ログシートにおいて当該交信の得点を0点とし、サマリーシート意見欄等にチェックログ扱い内容などを明記すること。
- (3) 常置場所以外に移動して運用した局は、運用場所を書類に明記すること。
- (4) 交信局数が100局を超える紙ログ書類を郵送で提出する場合は、重複する交信およびマルチプライヤーの確認書類（チェックリスト）を添付すること。（様式は問いません）
- (5) サマリーシートの意見欄にお寄せいただいたご意見やご感想は、今後のコンテスト運営に活かさせていただくとともに、後日コメント集として公表させていただく場合があります。
- (6) 提出締切日：2018年（平成30年）4月28日（土）（電子メール着または消印有効）
- (7) 提出先

（電子メールの場合）（別表1参照）

送信先メールアドレス : jn1dvn@jarl.com

送付可能な形式 : JARL形式に準ずるテキスト形式

送信件（Subject）名 : エントリーするコールサイン（例：JA9SCB/1）

（紙ログ書類郵送の場合）

〒232-0071 神奈川県横浜市南区永田北3-7-3-305
山岸 純（JN1DNV）宛

（封筒には、『非常通信訓練コンテストログ在中』と朱書きすること）

【賞】

- (1) 全ての部門種目毎に、参加局数が 10 局以下の場合 1 位、11 局から 20 局以下の場合 2 位まで、21 局以上の場合 3 位までの順位の局をハムの集いで表彰し、賞状を贈る。
- (2) ハムの集いに出席されなかった表彰対象局には、大会終了後に賞状を郵送します。
- (3) ログ提出局の中から、抽選で 5 局へ副賞として、防災関連グッズを贈呈します。

【失格事項】

- (1) 本規約に定める事項に違反した場合
- (2) その他 J A R L 主催コンテスト規約に準ずる失格事項

【結果発表】

- (1) JARL 神奈川県支部の HP (<http://www.jarlkn.info/>)、JARL NEWS 等で公表します。
- (2) 電子メールによる書類提出者には、電子メールで結果表(案)をお知らせします。
- (3) 返信先を明記して切手を貼った封筒 (S A S E) を同封された郵送による紙ログ書類提出者には、郵送で結果表を返信します。

【その他】

本規約に明記なき事項については J A R L 主催コンテスト規約に準ずるものとします。

本規約に対するお問い合わせは、書類提出先まで封書 (S A S E を同封のこと) もしくは、下記の問い合わせ先メールアドレスまで電子メールにてお送りください。

問い合わせ先メールアドレス : jarlkncontest+request@gmail.com

(別表 1) 電子メールによるコンテスト電子ログ書類の提出要領

送信先メールアドレス	jn1dntv@jarl.com
送付可能な形式	JARL 形式に準ずるテキスト形式 サマリーシート部分およびログシート部分を一体としたテキスト形式を、メール本文もしくは添付ファイル (テキスト形式ファイルに限る) として送付すること
送信メール件名 (Subject 名)	エントリーするコールサイン (例 : JA9SCB/1) 半角英数字を用いること

(参考) 「JARL 主催コンテストの電子ログの提出について」

http://www.jarl.org/Japanese/1_Tanoshimo/1-1_Contest/e-log.htm

「JARL 神奈川県支部主催コンテストの電子ログ提出について」

http://www.jarlkn.info/award_contest/index4_file/e_log/2017e_log.pdf